

平成31・令和元年度 九文調理師専門学校自己評価 (年度末)

学校教育基本方針 (教育理念)	近代的調理師が持たねばならない高度な調理技術と調理理論に関する深遠な科学的考察を醸成し、専門職にふさわしい強い意志と豊かな情操を養い、調理的立場から、将来にわたって、地域・社会に貢献できる人間教育を目指す
学校教育目標	1 自主・自律を重んじ、積極的に意欲ある学生の育成 2 地域・社会に貢献できる専門性の高い調理師の養成
重点努力目標	1 何事にも積極的に取り組む行動力の定着 2 質の高い調理師としての専門的な知識と技術の習得 3 就職試験に対応できる自己表現力の育成 4 調理師に付随した科目 (トータルコーディネート等) による資格取得

評価基準 4 : 十分達成している 3 : 達成している 2 : あまり達成されていない 1 : ほとんど達成されていない

評価者 職員5名 評価年度末 () 内は昨年度比

評価項目	目標	具体的方策	評価		成果と課題
			中間	年度末	
教育課程・学習指導	専門教科やその他の科目を効果的に取り入れ「基礎力」を育成する。	専門科目とその他の教科をバランスよく配分し、「基礎力」の育成に努める。	3. 6	3. 6 (-0. 2)	2年次も切り込みの練習を入れるなど、それを別の料理に活かす実習はとて実践的である。
	即戦力となるような職業教育カリキュラムを編成する。	校内の実習・演習系の科目をなるべく多く配し、就職先となる企業等の職場に類似した状況で学習できるように努める。	3. 7	3. 6 (-0. 2)	現場に必要なスピード感を重視し授業を行っている。高度調理技術・フードサービス (学生レストラン) ・集団給食・製菓など実習を数多く取り入れ、現場に類似した状況で実施している。フードサービス実習では試作を繰り返すことでお客への満足度、技術力・理解力の向上を目指している。
		総合調理実習の接客サービス・茶道等の科目を配し、情操面など人間的な「基礎力」を高めるための学習に努める。	3. 7	3. 6 (-0. 2)	接客作法や学生レストランでの接客等を通して、もてなしの心など現場に必要な基礎力の育成を行っている。茶道と茶懐石マナーを通し伝統的文化に触れさせている。
	指導方法の工夫や企業等の人材を活用し実践的な「基礎力」を育成する。	企業等の現場で必要となる「基礎力」は暗記ではなく体得するものであるということに、生徒自ら“気づく”ように努める。	3. 8	3. 6 (-0. 2)	上記内容に加え、体得するためには根気も必要である。学校生活の中で体得を通しての気づきを得られるように努めている。
		本校の卒業生を含め、企業等で活躍している人に授業や講演等を行ってもらい、より実践的な「基礎力」を育成できるよう努める。	3. 4	3. 6 (±0)	卒業生である3名の調理実習講師を含め、現場の料理長やオーナーシェフの実習指導などを通して、より実践的な基礎力の育成を行っている。

評価項目	目標	具体的方策	評価		成果と課題
			前期	年度末	
生活指導	全教職員で礼儀指導を行う。また、問題行動の予防に努める。	挨拶・礼儀及び容儀等の指導を徹底し、節度ある規則正しい生活を身につけさせるよう努める。	4.0	4.0 (±0)	挨拶・礼儀については、その大切さの指導を徹底している。卒業生についても、現場から好評をいただいている。
		悩みを抱える学生の早期発見に努め、適切な教育相談を行い、問題行動等を未然に防ぐよう努める。	3.2	3.0 (-0.2)	昨年度から、系列校の長崎国際大学からカウンセラーの専門家に週1回来校してもらい、相談体制を整えきめ細かな対応を行っている。1・2年合同の授業や行事を実施し、2年生から1年生へのアドバイスなど学生間のコミュニケーションをとらせるなどの工夫をしている。
進路指導	面談や適性検査等を実施して、学生の希望にマッチングした適切なキャリアサポートを行う。面接等に必要自己表現力の育成に努める。	入学後の早い時期に、進路意識の調査・把握をし、就職への動機づけを高めるための個別面談や指導に努める。	3.0	2.6 (-0.2)	進路希望調査の実施時期の検討が必要である。
		就職指導においては、企業毎の人材ニーズ等を踏まえ、具体的かつ分かりやすいアドバイスを努める。	3.4	3.4 (±0)	求人票の照会や調理・製菓実習の講師からの情報提供など、学生の相談にのり、就職支援を行っている。2年次のインターンシップが就職先に繋がるケースもある。
		面接試験に対応するため、HR活動等を通して、自らの考えを整理し表現できる力の育成に努める。	3.4	3.4 (±0)	学生レストランでの反省会では担当者の発表の場を設定している。就職試験に向けての面接指導も行っている。
		家庭との連携・協力に加え、挨拶・5S運動（躰・整理・整頓・清掃・清潔）やボランティア活動など、豊かな人間を育む教育に努める。	3.4	3.6 (+0.2)	5S運動に関する指導は徹底されている。地域清掃活動を歯科衛生士学院と連携して実施している。
		資格取得の指導を徹底し、就職率の向上に努める。	調理師免許と専門調理師技術考査取得100%を目指す。	4.0	3.6 (-0.2)
	企業訪問を実施し、就職の門戸を拡大し、学生の希望に沿った企業への就職率100%を目指す。	3.0	3.2 (+0.2)	インターンシップ時の実習先訪問を含め、学生の希望分野に沿った就職活動の支援を行っているが、未定者に対しては、卒業後も対応を行っている。	
社会人基礎力	思考力や創造力を伸ばし、物事に主体的に取り組む力や実行力の育成を図る。	現状を分析し、目的や課題を明確にすることにより、課題解決のプロセスを作成することができる能力を育成する。	3.4	3.8 (+0.2)	学生レストランでは課題等を出し合い、次回開催に反映させている。食楽論やホスピタリティ概論などの講義でも問題解決能力に関する内容が実施されている。
		自ら目標を設定し、周囲の協力を得ながら、失敗を恐れず、ねばり強く取り組むことができる能力を育成する。	3.6	3.6 (-0.2)	失敗する事を恐れたり恥ずかしがったりする学生も多いが、粘り強く指導を行っている。

評価項目	目標	具体的方策	評価		成果と課題
			前期	昨年度	
社会人基礎力	コミュニケーション能力を身につけさせ、チームで働く力の育成に努める。	自分の意見を分かりやすく伝える発信力や意見を丁寧に聞く傾聴力と意見や立場の違いを理解できる能力を育成する。	3. 4	3. 4 (+0. 2)	人前で話すことが苦手な学生もいるが、HRや学生レストランでの反省会等で発表の場を設け、発信力や傾聴力の育成に繋げている。
		社会のルールを守ることの大切さや、ストレスへの対応方法などセルフコントロール力を育成する。	3. 6	3. 4 (-0. 4)	ルールを守ることの大切さは、常日頃指導を行っている。時間厳守、自己管理を徹底させている。
組織運営	経営方針・努力目標に沿って、その実践に努める。 来年度に向けて一般課程（1年制）から専門課程（2年制）への移行を行う。	明示された中長期の学校経営ビジョンを含め、経営方針・努力目標を全職員が共有し、教育実践に努める。	3. 4	3. 8 (+0. 4)	年度始めの会で中期ビジョン等の資料を配付し、周知を図っている。
		教員間の授業研究を行い、授業内容を相互評価し、教員の専門性や指導力の向上に努める。	2. 8	2. 8 (±0)	実習については、可能な限り事前打ち合わせを行っている。
		学校自己評価を年2回実施し、ホームページ等で発信する。	3. 4	3. 4 (±0)	昨年度分はHPで公表している。
		専門課程2年制完成年度を経て、内容の見直しなどを含め新教育課程への対応を行う。	3. 8	3. 6 (+0. 2)	1年次のインターンシップや食楽論などの実施時期の変更を行った。
定員の確保に向けて学生募集に努める。	高校訪問や進路ガイダンス・ホームページ等を活用し、教育内容や在校生・卒業生の状況説明や学校のPRに努める。	4. 0	3. 0 (-0. 6)	HPなどインスタグラムを活用しての情報発信や高校ガイダンスでは体験授業、高校への出前授業などでPRを行っているが、学生募集に繋がっていない。次年度は学生サポート制度を新規に立ち上げるなど学生募集に繋げるように準備を行っている。	
		受験生や保護者に分かりやすい募集要項（学校案内）を作成し、高校訪問・オープンキャンパス・進路ガイダンスに活用する。	3. 6	3. 6 (-0. 2)	オープンキャンパスでは学生からの説明など、分かりやすく伝えるように心掛けている。12月の臨時のオープンキャンパスは参加者も多く好評であった。今後の参考にしたい。
	施設・設備の有効な活用と安全点検等の管理を適切に行う。	教育活動や指導は、常に安全を優先して行い、施設・設備の安全点検は月1回以上行う。	3. 6	3. 6 (-0. 2)	施設・設備については、築14年を経過したことから、メンテナンスも含め早めの対応を行っている。
日頃から、環境整備を心掛け、省エネ運動を推進し、水道使用量や電気使用量を前年比5%減に努める。	4. 0	3. 8 (-0. 2)	常に省エネに心掛け無駄をなくすようにしている。5%については、これまでも節電等を行っていることもあり厳しい状況にある。		
	パソコンによる学生情報等の管理と校務処理を推進してデータの共有化を図り、効率的な事務作業に努める。	3. 8	3. 6 (±0)	成績処理・管理等、適性に行っている。	